

体験授業 3

くすりをはかる

臨床分析化学分野 教授 大江 知行



くすりを知るためには、様々なレベルの「はかる」が必要です。「製品の成分・純度」だけでなく、「体内での吸収・分布・代謝」、「各患者さんへの効果・副作用」も対象です。また、どのような病気でも、何かを「はかり、数値化し、評価する」事が必須ですが、「はかる」対象が判らなければ正しく評価できません。本講義では、「分析化学」という学問が、くすりや病気を「はかる（≒理解する）」うえで、どの様に貢献をしているのかをお話します。